

受験番号	
------	--

令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 地理歴史（日本史） 解答用紙 (2枚のうち1)

5

得点	
----	--

--

問 1	(1) ア	1・5	/	(1) イ	松方デフレ (松方財政)	/	(2) ア	被仰出書 (学制序文)	/	
	(2) イ	文部省	/	(3)	2	/	(4)	井上毅	/	
	(5) ア	戊申詔書	/	(5) イ	日比谷焼打事件 (日比谷焼討事件)	/				
	(6)	1886年の帝国大学令以降、法制上での大学は官立の帝国大学に限られ、私立学校で大学に準ずる設備を備えた高等教育機関は、大学を称しながらも専門学校として位置づけられていたことが1911年度に4校のみであった理由である。 大学設置数が1920年度に急激に増加したのは、1918年に原敬内閣が制定した大学令において、これまでの帝国大学に加えて公立大学や私立大学なども大学として公認したからである。							/	
	(7)	国民学校	/	(8)	教育基本法	/				

--

--

--

受験番号	
------	--

令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 地理歴史（日本史） 解答用紙 (2枚のうち2)

5 (続き)

問 2	(1)	黒田清隆	/	(2)	1・4	/		
	(3) ア	共和演説事件	/	(3) イ	保安条例	/	(3) ウ	
	(4) ア	地方改良運動	/	(4) イ	詔勅	/	(4) ウ	
	(5)	4	/	(6)	2・4	/		
	(7) ア	<p>貴族院に基礎を置く清浦奎吾内閣に対して、政党内閣制の樹立などの要求を掲げて倒閣をめざす第二次護憲運動を展開した護憲三派は、1924年の総選挙で大勝し、憲政会の加藤高明を首相とする護憲三派連立の政党内閣を組織した。</p> <p>この内閣以降続いた「憲政の常道」とは、衆議院の多数派党首が交代で政党内閣を組織する政党政治の慣行のことである。</p>						/
	(7) イ	<p>海軍青年将校らにより首相である犬養毅が暗殺される五・一五事件が発生した。事件後、海軍出身の斎藤実を首相とする政党・軍部・官僚からなる挙国一致内閣が成立することとなり、大正末期以来続いた政党政治の時代は崩壊することとなった。</p>						/

--

--

--